地域のために

市民を守り続ける牧之原市消防団

市民の安全安心のために日夜活動する市消防団。日々の訓練をはじめ、火災や風水害、地震などの有事の際に出動し市民を守っています。消防団活動の一部と、今年4月に新たに就任した鈴木雅志団長からのメッセージを紹介します。

今年4月から、牧之原市消防団団長を拝命いたしました鈴木雅志です。よろしくお願いします。

私は、平成2年に第4分団（牧之原区）に入団し、7年に班長、12年に分団長を務めた後、本部長、副団長を経て、今年で入団22年目になりました。

地域の身近な防災リーダーとしての役割

私たち消防団は、多様化する災害に対応することはもちろんのこと、有事の際に支障をきたすことがないよう、車両や器具を点検する機械器具点検や市民の防災意識の向上などに力を入れて日々活動しています。

昨年3月11日に発生した東日本大震災は、これまでの災害に対する私たちの知識や常識が通用しない、想像以上の災害でした。被災地では消防団員が災害対応にあたり、活躍しました。

消防団では大震災で得たさまざまな教訓を、今後30年以内に約88％の確率で発生すると予想されている東海地震に生かせるようにしていかなければなりません。

地震による被害を最小限に抑えるためには、地域の自主防災組織や市民の皆さんと今まで以上に減災に取り組み、地域の身近な防災リーダーとしての役割を確立していきたいと考えます。

新入団員確保に協力を

消防団員の確保は全国的に苦慮しており、本市も例外ではありません。

消防団は、単に防災組織という性質を持つだけでなく、地域のつながりを強くするための組織でもあります。私たちは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という強い志を持ち活動していますので、ぜひとも団員の確保にご協力ください。

また、市民に対する応急救護の指導や防火、防災活動のPRなど幅広い防災活動に対応するため、女性団員も募集していますので、併せて協力をお願いします。

すずき・まさし
昭和40年生まれ。牧之原区在住の団体職員。
市消防団初の自営業ではない団長で、勤務しながら団長としての職務に当たっている。趣味は旅行。

夜警巡視

冬は、空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節です。

消防団では夜警巡視を12月から2月末ごろまで行い、火災の発生予防、早期発見に努めています。

ご協力をお願いします。

（期間や時間は地域により異なります）

新春出初め式

平成25年牧之原市消防団出初め式を開催します。

団員たちの日ごろの訓練の成果をぜひご覧ください。

日時　平成25年1月6日㈰
▼式典＝午後1時～
▼操法披露＝午後2時～
会場　相良中学校体育館およびグラウンド

支部消防操法大会

榛原支部消防操法大会が11月18日、静波グラウンドで開催されました。

ポンプ車操法の部には、第九・十一分団（菅山区・萩間地区）が、小型ポンプ操法の部には、第二・三分団（細江・坂部区）が出場。日ごろの訓練の成果を十分に発揮し、ポンプ車操法の部で優勝しました。小型ポンプ操法では、惜しくも優勝することはできませんでしたが、大いに奮闘してくれました。

第九・十一分団については、来年9月に開催予定の第34回静岡県消防操法大会に出場します。

出場選手紹介

【ポンプ車操法の部】
指揮者　大石秀雄
1番員　澤田常
2番員　源間一登
3番員　高塚将吾
4番員　鈴木拓也
補助員　増田真也

【小型ポンプ操法の部】
指揮者　増井寛夫
1番員　中山弘毅
2番員　曽根和則
3番員　中村誠
補助員　清水裕紀

❶小型ポンプ操法の部に出場した第2・3分団の操法。指揮者の号令により迅速、丁寧に放水を実施する❷可搬ポンプに確実にホースをつなげる様子❸ポンプ車操法の部出場の第9・11分団。放水するためにポンプ車に接続したホースを持って、火点に向かう2番員❹操法を全て終了し、解散を意味する「分かれ」の号令を掛ける指揮者

団員を募集します

私たちは災害時に役立つ訓練を日々行っています。

消防団では、地域を守るために活動したい人を募集しています。入団を希望する人は、地元の分団または、事務局まで連絡してください。

一緒に市民の安全安心を守りましょう。

分団からひとこと　第三分団（坂部区）

私たち第三分団は総勢40人の分団員が所属し、坂部区を担当しています。分団には、消防ポンプ自動車1台、小型動力ポンプ積載車2台が配備され、消防団活動を行っています。

毎月実施する放水訓練や車両点検など、団員全員が意欲的に取り組み、有事の際には一致団結して対応しています。

今後も地元の皆さんから信頼される消防団を目指し、地域防災のために責任を持って消防団活動に取り組んでいきますので、ご理解とご協力をお願いします。

第三分団長　大石洋昭

新入団員からのメッセージ

第七分団
秋野元洋団員（福岡）

私の小学生のころの夢は消防士になることでした。夢は叶いませんでしたが、地元に貢献するために消防団に入団しました。消防団活動をする中で、消防士になった気がします。

火事がないことが私の一番の幸せです。

＊第七分団…相良・福岡・波津・須々木区